

縄文時代	狩猟・採集の生活	国や政治体制といったものは存在せず、小さな集団が共同で狩猟・採集などを行い生活していた。
弥生時代	稲作の開始	農耕が始まり、地域ごとに力を持つ首長が現れ、これらの首長たちが互いに連合を組むようになった。
古墳時代	大和政権の台頭	大和政権が現れ、地域の豪族を支配下に置きながら中央集権的な政治を展開し、大規模な古墳が築かれた。
飛鳥時代	天皇中心の政治	聖徳太子が政治の基盤を築き、天皇が中心となって政治を行う体制が確立した。
奈良時代	仏教による繁栄	国家として仏教を取り入れ、東大寺などの大仏が建てられた。
平安時代	貴族の政治	天皇よりも実際の政治を行う貴族たちが力をもち、文化が花開いた。
鎌倉時代	武士の政治	源頼朝によって開かれた幕府によって、武士が政治の中心となった。
室町時代	分裂と統一の試み	足利将軍家による統一の試みにより、分裂と統一の間で揺れ動いた。
安土桃山時代	天下統一への歩み	織田信長、豊臣秀吉によって日本は、ほぼ統一された。
江戸時代	幕藩体制	徳川家康により幕府が開かれ、260年以上にわたる平和な時代が続いた。外国との接触を制限する鎖国政策が行われた。
明治時代	近代国家の形成	日本が西洋の制度を積極的に取り入れ、大日本帝国憲法が制定され、天皇を中心とした近代国家へと変わった。
大正時代	民主主義の芽生え	議会政治が発展し、民主主義の考え方が広がり始めた。